



かながわ

フリートーク

特定非営利活動法人(Ｎ
ＰＯ法人)のアンガージュ
マン・よこすか(横須賀市)

は、引きこもりなどで社会
参加が難しい若者の就労支
援や居場所作りに取り組
む。同市の中心商店街に開
いた書店の運営を若者に任
せて経験を積ませるほか、
来年度には共同生活するシ
ェアハウスも設ける。元中
学教諭の滝田衛理事長に取
り組みと課題を聞いた。

——若者の自立支援に取
り組む背景は。

「県内だけでなく全国的
にひきこもりや若年無業者

社会参加難しい若者支援

アンガージュマン・
よこすか理事長
滝田 衛氏



商店街で体験、自立促す

でいる。若者の年齢層は10
代から30代と幅広い。スタ
ッフや仲間との触れ合いを
通じて前向きになるきっか
けを作ってもらおう」
「就労支援では、若者に
運営を任せて経験を積んで
もらう『はるかぜ書店』を
本部近くに開いている。地
店の中には若者の雇用に積
極的なケースも多い。就職
した中には、コミュニケーションが苦手だったが、買
い物客との会話を通じて自
信を持てるようになったと
いう若者もいる」
「厳しい雇用環境が続く
が、地域の温かさを肌で感
じながら、給与などの条件
だけでは測れない労働の価
値を発見する機会にしてい
たい」

(二ト)の実態は十分に
把握されていない。行政も
プライバシー問題などで、
本格的な支援に乗り出せな
い。相談窓口などを設けて
も悩みを整理する場にはな
るが、今後どう生きるかと
いう課題は本人に委ねられ
て置き去りになりがちだ。
NPOだからこそ日常生活
で若者に付き添い自立を後
押しできると考え、200
3年に小中学校の教諭らと
今の組織を立ち上げた」
——具体的な支援策は。
「横須賀市の中心商店街
にある本部には、若者が気
軽に集まることのできるフ
リースペースを設け、個別
就労に結びつけることがで
きた。担い手不足に悩む商
元の商店などへの就職のあ
っせんにも力を入れる。ス
タッフが面接の練習や悩み
の相談にあたるなどきめ細
かいケアを提供している」
——若者の受け止めは。
「地道な活動だが、5年
間で150人以上の若者の
制優遇措置がある認定NP
O法人へ移行し、継続的に
支援する体制も整えたい」
(聞き手は高畑知彦)

神奈川県

横浜支局 0445-1201
川崎支局 0445-1220